

< 2020年度松蔭中学校高等学校 学校評価アンケート結果 >

2020年度中学生・高校生の全生徒を対象に「授業評価アンケート」、保護者を対象に「学校評価アンケート」を実施しました。(2020年1月～2月)

(1) アンケート内容・形式の変更について

本校では、過去10年間にわたり「学校自己評価」・「学校関係者評価」とともに「学校評価アンケート」の結果をHPに掲載してきた。

このアンケートは蓄積することで経年変化を見るのに役立つ。一方、学習指導要領の改訂や大学入試制度の変更など、近年になってより授業評価の実情把握に力点を置く必要が出てきた。そこで、今年度から生徒については「満足度アンケート」をwebによる「授業評価アンケート」に変更した。これは生徒の目線から見た教員の授業評価である。また、保護者の「満足度アンケート」においても回収方法をwebに切り替え、設問項目を精選(40問を10問に)した。

回答は「思わない」「あまり思わない」「ややそう思う」「とてもそう思う」の4段階を選ぶ方式で、従来と変更はない。

(2) 実施及び回収について

生徒については、担任がホームルーム等で実施したが、実施時期が3学期だったため登校してない高3生については校内での実施ができなかった。回収については業者に委ねた。保護者については、Classiによるアンケート配信・回収とした。

(3) 各設問内容

生徒の授業アンケートの設問については以下の通り。

- Q1 先生の授業ではポイントが整理されている(板書・電子黒板・プリント・実技指導を含む)。
- Q2 先生は、自分たちが勉強しやすいよう、いろいろ工夫してくれている。
- Q3 先生の授業での説明はわかりやすい。
- Q4 先生が使うICT教材(教材・映像・画像・板書など)は、わかりやすい。
- Q5 私には、ICTデバイスを利用した学習が合っている。"(利用していない科目は答えなくてよい)"
- Q6 先生は、生徒からの質問に対して、丁寧に応えてくれる。
- Q7 先生は、授業に対する熱意が感じられる。
- Q8 私は、わからないことがあると先生に質問したり相談したりしている。
- Q9 私は、先生の授業に満足している。
- Q10 私は、先生の授業を受けて、自分の学力(実技科目であればその技術)がついてきていると思う。

保護者の学校満足度アンケートの設問については以下の通り。

中学保護者

- Q1 子どもにとって、学校から出される宿題の量は適切である
- Q2 先生は、子どもからの学習内容についての質問や相談に親身に応じている
- Q3 入学後、子どもにとってキリスト教が身近なものになってきた

- Q4 学校のホームページは、保護者が知りたい情報を十分に提供している
- Q5 子どもは松蔭に入って英語が好きになった
- Q6 子どもは安全に通学できている
- Q7 松蔭では、警備体制や災害、緊急事態に対する対策を十分に講じている
- Q8 保護者面談や様々な状況での教員対応に満足している
- Q9 子どもを松蔭に入学させてよかったと思う
- Q10 松蔭に入学してから、子どもには良い友人ができた

高校保護者

- Q1 子どもにとって、学校から出される宿題の量は適切である
- Q2 先生は、子どもからの学習内容についての質問や相談に親身に応じている
- Q3 入学後、子どもにとってキリスト教が身近なものになってきた
- Q4 学校のホームページは、保護者が知りたい情報を十分に提供している
- Q5 子どもは松蔭に入って英語が好きになった
- Q6 子どもは安全に通学できている
- Q7 松蔭では、警備体制や災害、緊急事態に対する対策を十分に講じている
- Q8 保護者面談や様々な状況での教員対応に満足している
- Q9 子どもを松蔭に入学させてよかったと思う
- Q10 松蔭に入学してから、子どもには良い友人ができた

(4) 今後の課題

生徒アンケート・保護者アンケートともに回答方式をwebに変更したことにより、回答者の負担軽減をはかることができた一方、「いつでも回答できる」という安心感からか、保護者アンケートについては結果的に未回答者が多くなった。(回答者 中学235人・未回答者40人、回答者 高校240人・未回答者130人) 今後は、早めに周知をはかり、未回答者を減らす必要がある。